

## 第6章 第1節 参画と協働のまちづくり

### (1) 参画・協働の仕組みづくり(政策協働課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

住民や団体による特色あるまちづくり活動を支援するなど、住民と行政のパートナーシップ型のまちづくりに向けた仕組みを構築します。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 参画・協働の仕組みづくり	町	まちづくり活動支援制度の創設

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

平成24年度に組織再編を行い、まちづくり担当窓口としての政策協働課を設置した。また、同年より住民や団体が自ら考え行動をする住民税1%町民予算枠制度を立ち上げて参画と協働のまちづくりを支援している。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

事業実施8年目を迎え、これまで「わくわくアイデア事業」、「わくわくコラボ事業」は数多くの提案、企画が町民から出され、参画と協働のまちづくりが実践されている。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

わくわくアイデア事業においては住民からの提案が減少している。制度全体のレベルアップを図るために、広く住民へ周知する必要がある。  
わくわくコラボ事業は常連団体による継続実施が増えていることから、新規団体からの企画を求める必要がある。また、事業8年目を迎えたことから制度自体の見直しを検討する必要がある。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

#### ②改善

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

新庁舎の建設に伴い、中央公民館本館1階の旧教育委員会スペースに、「誰でも自由に集まり、気軽におしゃべりや交流ができる部屋」として、あつまルームを開設した。

## 第6章 第1節 参画と協働のまちづくり

### (2) 計画策定・政策形成過程への参画・協働の推進(政策協働課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

審議会・委員会委員の公募制度の充実やパブリックコメントの実施を通じ、各種行政計画の策定や政策形成の過程への住民の参画・協働を積極的に推進します。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 住民参画の推進	町	審議会・委員会委員の公募制度の充実 パブリックコメントの実施

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

各審議会・委員会委員は広報紙やホームページの媒体を使い広く委員の募集を実施した。また、各種計画策定にあたっては、パブリックコメントやアンケート調査を実施し、広く町民の意見等を計画に反映している。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

各審議会・委員会委員はこれまでと同様に広報紙やホームページを用いて委員の募集を実施した。特に第6次総合計画審議会においては公募を3名募集するにあたり、前記媒体にて募集した。各種計画策定においてもこれまでと同様にパブリックコメントやアンケート調査を実施し、広く町民の意見等を計画に反映してきた。さらには第6次総合計画策定における次世代に向けてのまちづくり懇談会を開催し、意見、要望を伺い、今後の計画に反映させる。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

広報やホームページで委員公募を実施するが、応募は少数であるのが事実である。また、まちづくり懇談会の参加者は高齢者が多く、住民の参画・協働をより充実したものにするには若年層の意見をも取り入れることである。そのような若年層の方をどのように取り込むかが課題である。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

②改善

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

上記のようなまちづくり懇談会などへ直接参加できない住民からの意見に対応するため「町政へのご意見」としてメールでも受け付けている。

## 第6章 第1節 参画と協働のまちづくり

### (3) 情報の共有化の推進(政策協働課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

町から伝えたい情報、住民が知りたい情報をより早く、正確に、わかりやすく提供するとともに、協働のまちづくりに向け広く住民からの情報収集に努めます。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 情報の共有化	町	広報紙、ホームページ、LED電光掲示板による情報発信 まちづくり懇談会の実施

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

広報紙、ホームページや電光掲示板などの媒体により情報の発信に努めている。また、ホームページにおいては、町民の利便性を高めるために多言語化やスマートフォンへの対応を実施した。さらに、住民との対話を深め、意見や要望を町政に反映させる取り組みとして、まちづくり懇談会を8会場で実施している。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

広報紙、ホームページや電光掲示板などの媒体により情報の発信に努めている。さらに、住民との対話を深め、意見や要望を町政に反映させる取り組みとして、平成29年度までは未来づくり懇談会として8会場で実施し、令和元年度は第6次総合計画策定に向けた、次世代に向けての「まちづくり懇談会」として4会場で実施した。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

これからも、広報紙、ホームページや電光掲示板などで住民に対し、正確でわかりやすい情報を提供していく。また、今後誰もが利用できるようホームページにオープンデータを公開できるよう整備していく。  
住民の意見や要望などを町政に反映させる取り組みとして、より多くの住民に参加していただけるような懇談会を実施する。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

②改善

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第6章 第1節 参画と協働のまちづくり

### (4) 多様な人材育成(政策協働課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

ボランティア活動やNPO活動が広く理解されるよう、広報・普及活動の充実を図ります。  
また、地域のリーダー、ボランティア組織、NPOなど相互の情報交換を行いながら、環境づくりや多様な人材・組織の育成に努めます。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 多様な人材育成	町	地域リーダーの育成 ボランティア組織の育成

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

平成28年1月からの新庁舎供用開始に伴ってきた、中央公民館の空き部屋を利活用するために、NPOやボランティア団体、公募者などにより町民活動の拠点づくりを目指している。この拠点に限らず、各団体など相互の情報交換を行い、人材・組織の育成に努めている。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

平成28年4月にコンセプトである「あつまる」「つながる」「まざりあう」の頭文字から名付けた「あつまルーム」を開設した。予約等は不要で、誰でも自由に集まり、気軽におしゃべりや交流ができる部屋であり、オープンから約3年半が経過した現在も、わくわくコラボ事業町民活動団体や文化協会所属団体、地域の学生等に毎日利用されている。住民同士が語り合う場として、団体同士の横のつながりが生まれることによる育成の可能性もあるため、一定の効果はあると考えている。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

「あつまルーム」については、ボランティア組織の育成におけるコミュニティエリアとしては、今後も利活用の方法について工夫していく必要がある。  
NPO等の担い手の増加・育成、地域リーダーの養成を狙い、まちづくりワークショップとリーダー研修会を交互に開催している。一方では、周知方法や参加者の確保に課題を残しているため、今後のあり方を検討していく必要がある。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

②改善

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第6章 第1節 参画と協働のまちづくり

### (5) 情報公開の推進(総務課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

情報公開条例等に基づき、情報公開を推進し、行政運営の透明性の確保を図ります。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 情報公開の推進	町	情報公開と個人情報保護の推進

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

情報公開は年間 30～50 件程度申請があり、個人情報の開示請求は年間数件程度となっている。特定個人番号の運用もあり、個人情報保護について平成 27 年度に職員研修を実施した。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

情報公開の請求及び個人情報の開示請求は、ともに大幅な増減はない。各請求について、しっかりと公開(開示)等の決定をして、行政運営の透明性を確保するように努めてきた。  
特定個人番号についても、適正な管理運用を行っている。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

毎年、新規職員が入ってくるとともに、人事異動で担当職務が変わることで、情報公開や個人情報保護の制度に関する周知は不可欠である。職員研修の実施は必須であり、これからも行政運営の透明性を確保するよう努める。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

#### ③現状維持

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

情報公開と個人情報保護の事務に関し、密接な関係があり、互いの観点から考察する案件も多いことから、審査の適正性を高めるためにも、別々だった情報公開審査会と個人情報保護審査会を一つにまとめ、事務の効率化を図った。

## 第6章 第2節 コミュニティ活動

### (1)コミュニティ活動の活性化支援(政策協働課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

地域での課題解決に向け、自主防災会の育成や防犯活動、交通安全活動、児童・生徒の見守りや子育て支援活動など様々なコミュニティ活動の支援を図ります。また、拠点となる施設整備への支援などコミュニティ活動の活性化を推進します。

主要事業	事業主体	事業概要
1. コミュニティ活動の活性化支援	町	大字・自治会活動の支援・補助

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

コミュニティ活動の基礎的単位である大字・自治会に対し、自主防災会の育成や防犯活動、交通安全活動、児童・生徒の見守りや子育て支援活動、高齢者対策などの様々な事業の支援と運営補助を行っている。さらに、学区単位では、南部コミュニティ推進協議会への支援・補助を行い、東部学区においては、東部コミュニティ推進協議会設立に向けた支援・補助を行っている。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

コミュニティ活動の基礎的単位である大字・自治会に対し、自主防災会の育成や防犯活動、交通安全活動、児童・生徒の見守りや子育て支援活動、高齢者対策などの様々な事業の支援と運営補助を行っている。さらに、学区単位では、南部コミュニティ推進協議会、平成28年3月に発足した東部コミュニティ推進協議会への支援・運営補助を行っている。

平成28年度から毎年、一般財団法人の助成事業に申請し、コミュニティ活動備品の整備をバックアップしている。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

現在の南部・東部両コミュニティ団体だけでなく、現在コミュニティ団体の組織のない英比地域と草木地域について、地域の特色からコミュニティ団体設立のニーズを調査し、必要であれば設立のサポートをするための情報発信や相談に努める。

既存のコミュニティのマンネリ化を防ぎ、地域で必要としている事業を実施できるよう情報発信や相談を継続していく。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

②改善

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第6章 第2節 コミュニティ活動

### (2)コミュニティ意識の高揚(政策協働課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

コミュニティの重要性、実際のコミュニティ活動の状況などについての広報・啓発活動を行い、各種行事や生涯学習活動、ボランティア活動への参加を促進するとともに地域コミュニティ活動に必要な情報提供や地域リーダーの育成を推進します。

主要事業	事業主体	事業概要
1. コミュニティ意識の高揚	町	広報等によるコミュニティ活動のPR

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

平成 25 年度から広報紙に「みんなで協働推進ページ」枠を設けて、各事業の内容やその活動を行う活動団体を紹介している。同様に、ホームページにおいても紹介している。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

これまでに引き続き、「みんなで協働推進ページ」においてロビーコンサートやアグルマーケット、わくわくAguフェスタなど各事業の内容やその活動を行う活動団体を紹介している。同様に、ホームページにおいても紹介している。  
また、地域コミュニティの活動についても広報紙に掲載し、地域の参画意識の向上を図っている。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

主にわくわくコラボ事業を実施している団体や地域コミュニティにおける活動状況を「みんなで協働推進ページ」で紹介している。今後、上記団体以外の団体が紹介されるよう情報発信や新規団体を開拓する必要がある。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

②改善

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

イベント参加者は、まずはじめにホームページなどインターネットで調べるため、コラボ事業実施団体や地域コミュニティ組織において、独自のホームページを作成している。ホームページ更新等の知識を持った担い手の確保が今後の課題であると考えます。

## 第6章 第2節 コミュニティ活動

### (3)コミュニティ施設の管理・運営の支援(総務課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

活動の拠点となるコミュニティ施設の地域による管理・運営を支援します。

主要事業	事業主体	事業概要
1. コミュニティ施設の管理・運営の支援	町	大字・自治会の集会所等の運営費補助 大規模改修の補助

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

大字・自治会へは年間総額 600 万円程の行政協力費を町から交付している。地区施設の改修補助は、行政協力員会で毎年案内し、平成 25・26 年度で3件実施した。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

大字・自治会へは毎年、世帯数、人口等に応じて行政協力費補助金を交付している。各地区集会施設の大規模改修については、平成29年度に3件、令和元年度に1件の実施案件があり、各々補助金を交付した。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

コミュニティ活動における施設の活用は今後も重要なので、管理・運営の支援は続けていく。行政協力費補助金についても、各地区での活動における資金援助としても継続が必要。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

③現状維持

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)



## 第6章 第3節 男女共同参画

### (1)男女平等意識の高揚(社会教育課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

男女共同参画社会の形成に向け、住民を対象に平等教育の講座を開催し、平等意識の向上を図り、DVやセクシュアル・ハラスメントを防止するための啓発活動を行います。また、教育関係者においては人権教育指導者研修会に積極的な参加を求め、平等意識の高揚を図ります。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 男女平等意識の高揚	町	男女平等教育講座の開催 人権教育研修会の参加促進

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

あぐい女性の会と共に、男女共同参画講演会を開催している。人権教育推進事業講演会は、人権擁護委員と連携して、住民だけでなく関係団体へも周知し、積極的な参加を求めて平等意識の高揚を図っている。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

男女平等教育講座として、あぐい女性の会と共催で、一般住民を対象に、男女共同参画講演会を開催し、平等意識の高揚を図った。  
人権教育への取り組みとして、小中学校教諭、PTA役員、社会教育委員の協力を得て、毎年、愛知県が主催する人権教育指導者研修会に積極的に参加し、平等意識の高揚を図った。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

人権教育推進事業講演会は、平成29年度まで開催し、住民福祉課の共催として関わった平成30年度をもって終了した。  
今後は、男女共同参画講演会に人権教育に関するテーマも取り入れて実施する計画をしている。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

#### ③現状維持

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第6章 第3節 男女共同参画

### (2)男女共同参画社会の形成(社会教育課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

男女共同参画プランの策定をはじめ、女性団体の支援や女性リーダーの養成とともに、女性の積極的な意見を反映するため、審議会や委員会、協議会などへの女性の登用率向上を図ります。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 男女共同参画社会の形成	町	男女共同参画プランの策定 女性リーダーの養成 女性団体の育成

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

平成 24 年3月に阿久比町男女共同参画プラン(2012～2016)を策定した。平成 27 年度は、第2次プランの策定委員会を開催し、平成 29 年4月施行に向けて会議を重ねていく。  
あぐい女性の会では、各種研修や交流会を開催して、自己啓発と団体間の連携強化、発展を図っている。また、県主催のセミナーや研修会、講座への参加を促進している。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

平成29年3月に第2次阿久比町男女共同参画プラン(2017-2026)を策定した。  
あぐい女性の会では、独自の研修会や交流会を開催し、自己啓発や所属団体の発展、団体間の連携強化を図っており、事務局からも会員に向けて、愛知県が主催するセミナーや研修会、講座への参加を促した。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

今後も、阿久比町男女共同参画プランに基づき、あぐい女性の会との協力体制を維持し、事業を推進する。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

#### ③現状維持

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第6章 第3節 男女共同参画

### (3) 就労環境の整備(ワーク・ライフ・バランス)(子育て支援課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

女性の能力が十分に発揮できる就労環境が整備され、一時保育・延長保育・学童保育など子育てや介護の支援施策の活用を促し、仕事と生活の調和を図ります。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 就労環境の整備	町	一時保育・延長保育・学童保育などの実施 介護支援施策の整備

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

平成26年度から町内全保育園での一時預かり・延長保育を実施している。4小学校区で全学年を対象とした学童保育は入所希望者すべてを受け入れる対応を行い、保護者が就労しやすい環境整備に努めている。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

平成28年度に開園したひなた保育園では、他の保育園にはない、一時預かり保育専用のクラスを設置し、より多くの児童を保育している。令和元年10月に実施する、令和2年度の保育所入園受付から、従来設定していた未満児に対する保育園入所条件を変更した。

学童保育については、引き続き4小学校区で全学年を対象とした学童保育は入所希望者すべてを受け入れる対応の整備を行い、平成29年度からはNPO法人どりーむハウスに業務委託を新規に開始し、東部学区での受け入れ態勢の拡充を行った。

また、令和2年度から実施する病児保育事業に向けて、関係機関との調整を行っている。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

未満児(1歳児・0歳児)に対する社会保険加入条件はまだ残っており、条件を満たさない短時間就労の世帯の保育を受け入れられていない。そのような背景もあり、幼稚園での保育を望むニーズが高いが、町内のほくぶ幼稚園では希望通りの受け入れができず、多くの児童が町外の私立幼稚園に通っている。今後、保育園入所条件を見直したり、幼稚園での預かり保育の実施が求められている。しかし、保育士不足や物理的な教室不足により達成には困難な状況がある。

学童保育においては、令和元年度現在、小学校の空き教室を活用したクラスの開設や、長期休暇中のみクラスの開所が実現できていない状況にあるため、放課後子ども教室との一体型利用も含めて検討をしていく必要がある。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

①拡充

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第6章 第4節 交流

### (1)小中学生国際交流事業の推進(学校教育課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

国際化社会に対応できる人材育成のため、海外派遣・受入事業など国際交流事業を推進します。学校教育の場で、互いの地域特性を生かした積極的な交流を推進していきます。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 国際交流の推進	町	小中学生海外派遣・受入事業

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

小学生については毎年10名をシンガポールに、中学生については毎年10名をカナダに派遣し、国際交流を推進している。また、シンガポールから10名の小学生の受入をしていたが、平成25年度より相手方の意向によりできなくなった。新たな交流先を検討し、現在の派遣先の小学校にも阿久比町への派遣を依頼したが、受入は実現できていない。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

引き続き小学生10名をシンガポールに、中学生10名をカナダに派遣を行った。受入については、シンガポールから訪日を希望する小学校がない、町内に宿泊できる施設がない、町内でホストファミリーを引き受けていただける家庭が少ない等の理由によりできていない。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

小学生を派遣しているシンガポールは、学校交流はなるべく政府を通して行い、個々の小中学校が直接日本の市町と話を進めてはいけないといった通達が出ていたり、教育レベルが高く政府や保護者は学校交流より授業を優先するべきとの考えが強く、姉妹提携を結んでいないと受入・派遣とも難しい状況である。シンガポールに限らず、他の国も含めて検討していく必要がある。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

②改善

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第6章 第4節 交流

(2)国際理解教育の推進・(3)国際化に対応した環境整備(学校教育課)

### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

異なる文化や価値観を認め合い、人権を尊重する精神が根付くよう、国際理解を深める機会づくりや、外国からの来訪者の地域における交流を支援します。また、外国人との相互理解を図るためには、外国語の能力が必要なため、語学教室などによりコミュニケーション能力の向上に努めます。案内板や各種刊行物などの外国語併記、役場窓口をはじめ各公共施設における外国人への対応の充実など、外国人が住みやすく訪れやすい環境整備を推進します。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 多文化共生の推進	町	国際理解教育の推進 国際化に対応した環境整備

### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

小中学校ともに英語の授業にALTを配置し、ネイティブスピーカーの発音を聞くことで、英語力の向上を図るとともに、外国人とふれあうことにより、国際理解を深めることができている。また、小中学校の海外派遣事業において、報告会を各校で実施し、現地での体験や知識を他の児童・生徒と共有を図り、国際理解に役立てている。

### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

小中学校ともに英語の授業に外国人のALTを配置。  
小中学生の海外派遣を毎年実施。

### ②第6次総合計画に向けた残された課題

学校の授業だけではALTと1対1で会話する時間は取れない。例年実施している海外派遣はごく限られた児童生徒しか海外体験ができない。

### ③第6次総合計画における今後の方向性

②改善

### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

海外派遣にかえて夏休み等に業者に依頼して外国人を派遣をしていただき、オールイングリッシュの研修会を実施してみてはどうか。英会話やゲームを少人数グループで実施することで外国人と多くふれあう時間がとれ、英語を話すことに自信を持つことができる。

## 第6章 第4節 交流

### (4)国内各地域との交流(政策協働課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

特色ある本町の地域特性・資源を有効活用し、他地域などとの交流活動の展開に努めます。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 地域間交流の推進	町	姉妹都市提携の検討

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

平成元年から「ほたるサミット」に参加している。このサミットは、ホタルを通じて自然に対する理解を深めるなど、活力ある緑豊かなふるさとづくりを推進することを目的に、各市町(5市1町)の取り組みについての発表や意見交換の場として、参加市町の持ち回りで開催している。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

毎年「ほたるサミット」に参加している。これまでどおりホタルを通じて各市町(5市1町)の取り組みについての発表や意見交換の場として、参加市町の持ち回りで開催している。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

ホタルの保護に努めるとともに、豊かな自然を活用した魅力あふれるふるさとづくりを共通とする各市町とのつながりを今までどおり保ち続けること。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

#### ③現状維持

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第6章 第5節 行政経営

### (1) 効率的な行政運営の推進(政策協働課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

社会情勢や住民ニーズに即した組織・機構の改革をはじめ、既存事務事業の総点検と見直し、指定管理者制度・民間活力の導入、情報化の推進、人事評価制度の導入など効率的な行政運営を推進します。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 効率的な行政運営	町	機構改革、行政評価、指定管理者制度、民間活力の導入、人事評価制度の導入

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

平成24年度に新庁舎へ移行する機構改革を実施した。また、平成19年度から業務の課題や改善すべき点を洗い出し、現状を客観的に分析することで、施策の今後の方向性を明示する行政評価を実施している。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

平成19年度から業務の課題や改善すべき点を洗い出し、現状を客観的に分析することで、施策の今後の方向性を明示する行政評価を実施している。平成30年度実施事業評価から担当の意見を基に所属長と最終評価者(部長)の2段階で評価することにした。職員の意識改革と事業の進捗確認、住民に対する説明責任の機会としている。また、広報・ホームページでも公開している。

平成29年度と令和元年度に、職員自らが創意工夫し、効率化や職場環境・財政運営の向上などに取り組むことで、職員全員の改善意識を醸成し、住民満足度と職員満足度を高めつつ、職員自身の働き方改革を進めることを目的に、「カイゼン」を実施した。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

職員の意識改革と事業の進捗確認、住民に対する説明責任の機会としての意義はあるが、職員負担を軽減するために様式の簡素化を図る一方、これからも有益な仕組みにすることが課題。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

②改善

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第6章 第5節 行政経営

### (1) 効率的な行政運営の推進(総務課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

社会情勢や住民ニーズに即した組織・機構の改革をはじめ、既存事務事業の総点検と見直し、指定管理者制度・民間活力の導入、情報化の推進、人事評価制度の導入など効率的な行政運営を推進します。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 効率的な行政運営	町	機構改革、行政評価、指定管理者制度、民間活力の導入、人事評価制度の導入

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

一部施設で平成19年度から導入した指定管理者制度は、平成27年度現在で14施設が運用している。3年ごとに更新しているが、指定管理者から町の直営に戻した施設はない。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

指定管理者による施設数は14から変動なく、管理業者等も変更はない。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

指定管理業者等の選定が適切かどうか、業務や指定期間等を見直すとともに、施設の有効な活用ができるよう図っていく。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

②改善

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)



## 第6章 第5節 行政経営

### (2) 健全な財政運営の確立(検査財政課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

企業誘致を進め安定した財源の確保に努めるとともに、限られた財源を効率的に活用するため、経費全般についての見直しを行い徹底的な節減・合理化を進めます。また、受益者負担の原則に基づく使用料・手数料の適正化、収納率の向上など、自主財源の確保を図ります。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 健全な財政運営	町	企業誘致による税収の確保 経常経費削減の徹底 健全化判断比率及び資金不足比率の公表 公会計制度改革による企業会計手法の導入

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

新たな企業誘致は、土地改良事業の停滞により進んでいない。  
経常経費については、消耗品当初予算計上額を予算編成方針により毎年5～10%カットし、節減に努めている。  
健全化判断比率及び資金不足比率については、平成19年度より公表している。  
公会計制度については、平成27年度中に固定資産台帳の整備を進め、国が要請している平成29年度をめどに財務4表を作成する予定である。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

新たな企業誘致は、土地改良事業の停滞により進んでいない。  
経常経費については、予算編成方針により社会保障に係る経費を除き毎年5～8%カットを目標とし、節減に努めている。  
健全化判断比率及び資金不足比率については、平成19年度より公表している。  
公会計制度については、平成27年度中に固定資産台帳の整備を進め、国が要請している平成29年度から財務4表を作成し公表している。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

社会保障費の増加等により、町財政は年々厳しくなっている。第5次計画の施策(企業誘致を進め安定した財源の確保に努めるとともに、限られた財源を効率的に活用するため、経費全般についての見直しを行い徹底的な節減・合理化を進めます。また、受益者負担の原則に基づく使用料・手数料の適正化、収納率の向上など、自主財源の確保を図ります。)を引き続き実施する必要がある。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

②改善

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第6章 第5節 行政経営

### (3) 職員の育成(総務課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

多様な研修機会の提供や地域活動の参加などにより、今後の社会情勢に対応できる幅広い見識を身に付けた人材の育成を図ります。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 職員研修の充実	町	自治大学校・市町村アカデミーへの派遣 各種研修の活用による職員の資質向上

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

平成23年度から平成27年度までの主な派遣研修実績

- ・自治大学校 10人
- ・市町村職員中央研修所(市町村アカデミー) 12人
- ・全国市町村国際文化研修所 11人

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

自治大学校には、幹部候補生向けの第2部、幹部職員向けの第3部に毎年1名ずつを派遣している。市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)及び全国市町村国際文化研修所に対しても、専門知識修得のため担当者を派遣し、職務に活かすことができるように努めている。

その他の研修についてもその時々に応じた研修の開催や受講を行っており、主要事業はおおむね達成できていると考える。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

自治体を取り巻く環境は大きく変動しており、業務の役に立つタイムリーな研修を受講させる必要があるが、人事異動や日々の業務が多忙であり、タイムリーに研修を受けさせることが難しい。

研修計画を策定し、より効果的な研修の実施、受講をさせるとともに、研修を受講できる体制を構築する必要がある。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

①拡充

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第6章 第5節 行政経営

### (4) 広域行政の推進(政策協働課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

多様化・広域化する行政ニーズに効果的・効率的に対応していくため、周辺市町との連携・協力関係を強化し、広域行政を推進します。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 広域行政の推進	町	広域連携による新たな行政課題の調査研究 消防・救急・斎場、し尿・ごみ処理、下水処理など効果的・効率的な行政運営の実施

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

平成24年2月に名古屋市河村たかし市長が掲げる「尾張名古屋共和国」構想を協議する「尾張名古屋の行く末を考える会」の会が開催され、広域連携のあり方などについて懇談を行った。現在、名古屋市近隣の39市町村の結びつきをさらに強め、圏域のさらなる活性化・成長を目指し、課題などの意見交換を行っている。

5市5町で構成する知多市町会においては、圏域の課題などの意見交換を行っている。

5市5町で構成する中部国際空港を核とした知多地域振興協議会においては、空港を核としたまちづくりに関する先進事例等の調査研究、地域の活性化に資する事業などの意見交換を行っている。

知多南部2市4町広域まちづくり研究会においては、広域的課題に関する事業推進事項について意見交換を行っている。

一部事務組合などにより、消防・救急・斎場、し尿・ごみ処理、下水処理など共同処理を行い、効率的な行政運営を実施している。

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

知多市町会では圏域の課題などの意見交換を担当者会、幹事会で行っている。中部国際空港を核とした知多地域振興協議会においてもこれまで同様に意見交換を行っている。名古屋市近隣市町村連絡会並びに知多南部2市4町広域まちづくり研究会へも参加しており、知多地域にとどまらずに名古屋市近隣市町村とも意見交換・調査研究をしている。

また、平成31年4月から広域でのパスポートセンターを半田市に開設した。

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

これからも効率的な行政運営には広域的な連携が必要であり、今後も知多5市5町の広域的な発展のため、連携協力体制を維持していくことが重要である。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

#### ③現状維持

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)

## 第6章 第5節 行政経営

### (5)新庁舎の建設(検査財政課)

#### 第5次阿久比町総合計画 施策の内容

住民ニーズに合った利用形態を検討し、総合的な防災機能や情報発信機能を備えた、住民が利用しやすい新庁舎を建設します。

主要事業	事業主体	事業概要
1. 新庁舎建設事業	町	新庁舎の建設

#### 平成23年度～平成27年度までの進捗状況

平成 23 年度 新庁舎建設基本構想策定  
平成 24 年度 新庁舎建設基本設計策定  
平成 25 年度 新庁舎建設実施設計策定  
平成 26 年度 新庁舎建設工事着工  
平成 27 年度 新庁舎建設Ⅰ期工事 庁舎棟完成

#### ①上記進捗状況を踏まえた、平成28年度から令和元年9月までの達成状況

平成28年度 新庁舎建設Ⅱ期工事 ホール棟・食堂棟・倉庫棟完成

#### ②第6次総合計画に向けた残された課題

建設は終了した。

#### ③第6次総合計画における今後の方向性

⑨終了

#### ④主要事業以外の関連する取組(もしくは新規事業等)